

アクチュエイトがフリーミアム製品 BIRT iHub F-Typeを発表 - グローバルで350万人超のBIRT開発者向けにレポートینگ、ビジュアライゼーションの環境を無償で提供

大企業でビジネスクリティカルな顧客向けアプリケーションのデプロイに利用されている、エンタープライズグレードのBIRT iHubプラットフォーム。その機能に無料またはサブスクリプションでの利用を可能にするソフトウェアを提供します。

[アクチュエイトジャパン株式会社](#) (本社: 東京都千代田区麹町 5-1 NK 真和ビル 9 階) は、2014 年 7 月 16 日、BIRT iHub F-Type の提供開始を発表いたしました。この新しいソフトウェアによって、商用 BIRT iHub™に備わるエンタープライズグレードのデプロイプラットフォームの機能とパワーに一定の出力量までは無料で利用でき、オープンソース BIRT 開発者の生産性が促進されます。

これまで、オープンソース BIRT を使用する開発者は、複数のデバイスで個々のエンドユーザーとコンテンツを共有するために、カスタムレポートサーバーの形でデプロイメントインフラストラクチャを構築する必要がありました。それが、BIRT iHub F-Type を最初にダウンロードして 15 分以内に、BIRT レポートをインポートしたり、セキュアに配布をスケジュールしたり、フル機能 Excel スプレッドシートとしてレポートをエクスポートしたりできるようになりました。ベータ版テスターに好評を博した機能として、エンドユーザーがすぐに利用できる対話型パーソナライゼーション機能もあります。さらに、開発者は独自に開発したアプリケーションに動的なレポートや視覚化機能を埋め込むことができます。

BIRT iHub F-Type のベータテスターであり、5 年間に及ぶ BIRT の経験で、500 以上ものレポートを作成した開発者でもあるダン・シュレック氏はこう述べています。「初期設定のまますぐに使える機能は、本当に簡単に使えます。BIRT コンテンツの対話操作、スケジュール、共有、埋め込み、そして Excel へのエクスポートといった操作を、シームレスに実行できるところが気に入っています。」

「アクチュエイトはサブスクリプションビジネスになりました」、こう述べているのはアクチュエイトの社長兼 CEO であるピート・チッタデーニです。「2014 年 7 月 1 日から、BIRT iHub は、サブスクリプションライセンスのみでの提供となりました。BIRT iHub F-Type はアクチュエイトのサブスクリプションビジネスの成功に大きく貢献し、私たちのビジネスの成長を導いてくれるでしょう。」

「BIRT iHub F-Type は、拡大を続ける BIRT 開発者コミュニティに、コストを一切かけずに重要な機能を提供します」と、アクチュエイトのシニアバイスプレジデントであるディラン・ブドラーは述べています。「この新しいフリーミアムソフトウェアは、BIRT レポートと、エンドユーザー対話操作を容易にする視覚化機能の管理、スケジュール、共有、統合、安全な配布についてのプロセスを合理化することで、開発者の生産性を劇的に向上させます。」

BIRT iHub F-Typeの仕組み

消費者が使用状況に応じて段階的にアプリの機能を購入するという、ここ数年の“サブスクリプションエコノミー”への移行によって、エンタープライズソフトウェア市場は共通のモデルに収斂しつつあります。Splunk、GitHub、Skype、Dropbox などの大半のフリーミアムソフトウェアでは、高機能商用ソフトウェアの無料版を提供します。ユーザーはまず無料で基本機能を利用したのち、必要に応じて高度な機能を購入することができます。

BIRT iHub F-Type では、Splunk のようにデータの入力量が抑制されません。1 日あたりのデータ出力量は多くの開発者のニーズに合ったレベルに制限されていますが、データの入力量には制限がありません。開発者は無料で 1 日あたり 50MB のデータ出力が可能です。これは数千のテーブルと視覚化機能が含まれる数百のレポートを毎日配備するために使用できる量です。

1 日の出力量が無料で使用できる容量を超えた場合は、BIRT iHub F-Type の画面から追加の容量をサブスクリプションで簡単に購入できます。エンドユーザーのデータ消費量を測定できるよう、1 日あたりの容量を 2 回超過するまでは容量制限が適用されません。

BIRT iHub F-Type の利点と主な機能

BIRT iHub F-Type は、オープンソース BIRT またはアクチュエイトの商用 BIRT Designer Pro IDE を使用して作成したコンテンツの管理と配布のために設計されています。BIRT iHub F-Type では BIRT iHub 商用デプロイメントプラットフォームの全機能を使用できます。

BIRT iHub F-Type を使用すると、開発者は以下を実現できます。

- セルフサービスコンテンツを自動化することで、生産性が促進されます。カスタムコードを使用したスケジュールやメール配布は不要です。
- ユーザーが独自のコンテンツをカスタマイズでき、時間が節約されます。開発者はユーザーごとに千差万別のレポートを際限なく作成する必要がなくなりました。
- データを細かいレベルで安全に共有でき、BIRT コンテンツ用の管理プラットフォームを構築する必要がありません。
- ユーザーのニーズに応じて、数式やピボットテーブルを備えたネイティブ Excel 形式を利用できます。別途 Excel 用のインフラストラクチャを作成する必要がありません。
- JavaScript API を利用して、Web またはモバイルアプリケーションへのコンテンツの統合または埋め込みを迅速かつシームレスに行うことができます。

部門ごとなど、少数のユーザーに多数のレポートを配備したり、多数のユーザーに少数のレポートを配備したりする必要のある開発者には、無料の BIRT iHub F-Type でも十分役立ちます。組織内外の顧客の需要に応じて増量する必要が生じた場合は、BIRT iHub F-Type の画面から追加の容量をサブスクリプションで購入できます。

顧客向けアプリケーションなどの非常に大規模なエンタープライズプロジェクトの場合は、ユーザーは BIRT iHub F-Type で追加の出力容量を購入したり、エンタープライズグレードの BIRT iHub デプロイメントプラットフォームに移行したりできます。エンタープライズグレードの BIRT iHub デプロイメントプラットフォームには、高可用性とスケーラビリティを実現するクラスタリングのほか、マルチテナント機能があります。

無料の F-Type を今すぐダウンロードするには:

BIRT iHub F-Type は <http://www.actuate.com/ftype> で本日よりダウンロードできます。このフリーミアムソフトウェアはアクチュエイトの商用ライセンス条項に基づいて配布されます。1 日あたり 50MB の最大出力量を超過した場合、2014 年 12 月 31 日まではお試しキャンペーンとして 1 日あたり 50MB を無料で追加できます。より多くのデータ出力量が必要な場合は、有償のサブスクリプションアップグレードによって、1 日あたり 50MB を超える出力量を利用できます。

[Actuate - The BIRT Company™](#)について

アクチュエイトは、スケーラブルで安全なソリューションを構築する 350 万以上の BIRT 開発者および OEM にソフトウェアを提供しています。それらのソリューションは、パーソナライズされた分析と洞察を、2 億人を上回る利用者の顧客、パートナー、従業員に提供することで、時間の節約とブランドイメージの向上に寄与します。オープンソース IDE BIRT の開発・サポート元であり、世界基準の視覚化およびデブ

ロイメントプラットフォーム [BIRT iHub](#)™を開発するアクチュエイトは、顧客向けアプリケーションに取り組む開発者の生産性を大幅に高めます。アクチュエイトの [BIRT Analytics](#)™は、セルフサービスの予測分析を提供し、ビッグデータを利用する顧客の業務を改善します。 [Actuate Customer Communications Suite](#)™を利用すれば、組織は大量のコンテンツを簡単に変換、処理、パーソナライズ、アーカイブし、個別化された対応を提供できます。シリコンバレーに本社を構えるアクチュエイトは、金融サービス、テクノロジー、官公庁分野に 5,000 以上のエンタープライズ顧客を擁しています。ぜひ、actuate.com/jp および developer.actuate.com にお越しください。

Copyright © 2014 Actuate Corporation. All rights reserved. Actuate, legodo, BIRT iHub, BIRT iHub F-Type, BIRT Analytics, Actuate Customer Communications Suite, The Actuate Document Accessibility Appliance, BIRT onDemand, BIRT Viewer Toolkit, および Actuate ロゴは、Actuate Corporation およびその関連会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。「パートナー」または「パートナーシップ」という言葉の使用は、Actuate とその他の企業との間に法的なパートナーシップ関係があることを意味するものではありません。言及されているその他のブランド、名称、または商標は、各所有者の商標です。